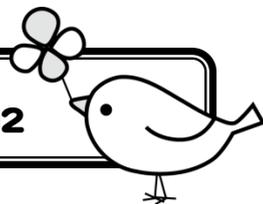


おおたま学園コミュニティ・スクール便り No.12



第1回コミュニティ・スクール委員会が平成28年5月18日(水)18:15~20:15、大玉村農村環境改善センターに於いて開催されました。主な内容は ①委員の任命 ②各園、各校が今年度重点的に取り組むことの報告 ③コミュニティ・スクール委員会の方針と年間活動計画 ④「おおたま・オータム・フェスタ」についての協議でした。特に今年度は委員の皆様は学校の教育活動をより深く理解してもらい学校等の運営方針にご意見いただけるよう、

○コミュニティ・スクール委員の皆様は学校を参観していただく。

○学校関係者評価をコミュニティ・スクール委員が行う。以上の2点に重点的に取り組みます。

村民の皆様も大玉の教育や各校・園の教育について、何かお気付きの点がありましたら、お知り合いのコミュニティ・スクール委員もしくは教育委員会事務局にお知らせください。

【28年度のメンバー紹介(敬称略・ゴシックは新規の方)】

会 長：境野健児

副会長：後藤みづほ 藤田安宏 伊藤和弥

委 員：遠藤守雄 遠藤八重子 遠藤雷太 菊地暢一 斎藤信一 鈴木真一
高橋綾香 武田伸一 武田夏代 星野裕二 松井博次 矢吹吉信
國分初男 佐々木善信 武田智道 田辺将裕

学 校：渡辺康弘(大玉中) 渡辺光太郎(大山小) 佐藤一男(玉井小)
後藤弥和子(大山幼) 佐藤文江(玉井幼)

事務局：菅野昭裕 藤原謙 武田幸子 渡辺美恵子 伊藤由美子

【28年度の主な活動計画】

時 期	会議・主な活動
5・7・10・12・1・2月	コミュニティ・スクール委員会
6・9・11月	各校園学校運営協議会
7月29日(金)	全国コミュニティ・スクール研究大会 in 秋田県由利本荘 (CS委員代表が参加)
10月1日(土) 予備日3日(月)	おおたま・オータム・フェスタ協力
1月	学校関係者評価実施 大玉村教育フォーラム実施



コミュニティ・スクール委員会では「みんなで支え、みんなで育て、みんなが育つ大玉の教育」を推進するために毎年教育フォーラムを開催しています。平成 27 年度の大玉村教育フォーラムは「みんなで語り合おう！子育てのこと、地域のこと」というテーマで、平成 28 年 1 月 27 日(水) 18:00～20:00 の日程で開催しました。保護者・地域住民・教職員・CS 委員・その他含めて計 120 名を超える方々の参加をいただきました。

参加した皆様から、これからの「大玉の教育」についてたいへん示唆に富むご意見をいただきましたので、その内容の一端をご紹介します。

第 1 部 パネルディスカッション

子どもたちのために活動してくださっている村民の方の活動やその思いにふれるパネルディスカッション

○パネリスト

- ・菅原 功さん (大玉 1 2 区防犯協力会)
- ・八木田厚子さん (ボランティア代表)
- ・酒井美代子さん (北塩原村学校支援地域本部 地域コーディネーター)

○コーディネーター

- ・伊藤和弥さん (CS 副会長)



【パネリストの方々からの発表内容の要旨】

菅原さん

- ・「大玉 1 2 区防犯協力会」という地元組織で登下校時の見守り活動を長年にわたり実施。
- ・子ども達が「自分の足で歩く」ことから得られる体験の大切さを訴える。
- ・子ども達との心のふれあい、スキンシップが活動の原動力。
- ・地元の集会所にて「ふれあいデー」を開催し住民同士の親睦を図る。

八木田さん

- ・社会教育委員、学校支援ボランティアなどを務める中で地域住民とのつながりを広げ、更なる交流の輪を広げている。
- ・子どもは 100%認めてくれる大人の存在が必要。自分の学びを次世代の子どもたちへ伝えながら、自分もその一人になりたい。

酒井さん

- ・北塩原村での学校支援コーディネーターとして活躍。自らもボランティアに参加しながら、地域住民同士のきずな作りに尽力されている。
- ・「一人一人が出来ることをやる」ことの大切さを訴えながら学校支援ボランティアが将来の人材育成であることを伝えていきたい。
- ・地理的に広い地域で人材を確保する大変さを訴える。

第 2 部 グループ討議「子育てなんでもフリートーク」

- 「保護者」「地域住民」「ボランティア」「教育関係者」様々な立場の方々が入り混じったグループで話し合い、それぞれの思いにふれる。
- ・第 1 部を受けて提言されたキーワードについて、CS 委員が進行役となり参加者は付箋に自分の意見を記入しながら自由に話し合う。一班 10 名程度。

キーワード

- ①：「地域、家庭、学校それぞれが果たすべき役割」とは？うまくいっていること、いかないことは？
- ②：「みんなで支え、みんなで育て、みんなが育つ」を実現するために必要なことは？課題は？

【グループ討議より】

キーワード①について

学校の役割

- ・人とかかわる力をつけてやること。そのために勉強がある。
- ・集団（小さなコミュニティ）で学び、社会につなげる場。
- ・日々の授業を通して、“自分で考える”“自分から行動する”子どもを育てる。
- ・基礎学力。夢・希望を実現にしていく、近づくに必要な力。スタートのきっかけ。
- ・地域の人達が関わりを求めて集まることができる場。

家庭の役割

- ・気持ちの安定→学習へ向う基盤づくり。家庭学習ができる環境づくり。
- ・小さな社会としての人間形成場所。
- ・自分を守ることを教える。（命の大切さ）
- ・子どもにとって生きるための基礎基本を教える所。（ほとんど全領域）

地域の役割

- ・地域の伝統行事、食文化などを伝える。
- ・社会に出て役立つ適応する力。周りに協調していく力。
- ・子どもにとって生きるための基礎基本を教える所。（ほとんど全領域）

キーワード②について

- ・良い意味でおせっかいをやく。
- ・学校、家庭、地域から提案（支援）できるシステム。
- ・全ての人に関わっていかなければならない。無関係な人がいてはならない。
- ・意思の疎通。お互いに交わる部分があつてうまくいくもの。みんながどこか関わっていれば。
- ・子どものこと、学校と家庭で情報の共有。
- ・子ども達に郷土を伝える。→郷土の良さを多く知ることができる。
- ・安心して暮らせる地域の中で、地域の方々の協力、思いやる心、認め合える心を育てる。
- ・子どもを育てるのではなく、子どもを通してみんなが育つ。



【アンケートより】

保護者

- ・実際に活動されている方の話を聞いて、自分でもできることがあるのではないかと思った。地域活動に対するハードルが下がった。

- ・家庭で教育について語り合うことはあっても、地域で教育について語る場が大玉村にあることは素晴らしいことだと思う。
- ・初めて参加した。パネルディスカッションやフリートークがとても楽しく、また勉強になった。
- ・地域住民が話し合う場があることは非常に良い。このような場が日常化して様々なトピックについて意見を交わせれば良いと思う。
- ・幼、少、中、保護者、教員それぞれ違った立場の方々との話し合いはなかなかないのでいい経験だった。

地域住民

- ・それぞれの立場が持つ地域の子供たちに対する愛情に深さを感じ、とても感動した。
- ・子育てについて考えている方が大玉村にこんなに沢山いることに安心した。

教職員

- ・それぞれの方の思いや願いを共有できたのはとてもよかった。お三人の一方的な話だけで終わったので互いの発言から話を発展させることが出来たらもう少し深まりが出たのかなと思う。
- ・大玉を愛する思いを知ることが出来勉強になった。
- ・教職員と保護者との正直な気持ちを伝える場になっていた。
- ・地域の人々が行っている活動や集まりについての話を聞き学ぶことが出来た。
- ・聞くだけでなく話すということがとても大切だと思う。他の人の意見を聞けて良い刺激になった。
- ・フリートークを学校の中でもやってみてはどうか。

CS 委員

- ・子供目線でのボランティア活動、自分の学びにつながる循環型の生涯学習、とても良いお話が聞けた。
- ・先生方の熱い思いが、親や地域の人たちにも波及していけば良いと思う。
- ・私は夢をかなえているだろうかと振り返った。
- ・境野会長のお話「大玉村の文化力を発展させる」に感激した。
- ・皆子育てに様々な悩みや不安を抱えているのだと知った。これらを共有することで新たな“気づき”もあると思う。このような機会はとても大切でもっと増えれば良いと思った。
- ・地域のリーダーを育てていくことも大切であり、CSの意義を周知することも大切だと思った。
- ・大玉村、素敵なところですね！参加させていただきありがとうございました。大玉の「教育」は共育だと感じました。「共」に育てる、いいですね！

H28/6/15 発行 おおたま学園コミュニティ・スクール委員会
 (事務局：大玉村教育委員会内 連絡先：48-3138)

